

肩

の上

の
龍
驤

成人
向



肩の上の龍囃



昭和12年8月15日

上海近海

とある任務の遂行のため
一航戦(龍驤、鳳翔)は
馬鞍群島方面を目指していたが



不意の嵐によって
足止めを余儀なくされていた

投錨

航空母艦・龍驤

暴支膺懲!

暴支膺懲!

これ以上の
航行は無理か...

海上に浮かんでるのが
奇跡みたいな軍艦だからな...

全くこの
ポンコツは...

しっ!

中佐殿に聞こえるぞ!







な？
不安定やろ……？

私は座敷童に
憑かれていた

いや…軍艦童か…？



すまん…
やはり疲れてるんだ

出港以来…



人間で言うところ
こういうバランスや
危なっかしくて
かなわん…

思い知ったやろお？



ねえ君たち…
本当にこれが
見えないの？

は？

人の話を
聞けーっ！



調子悪いん？
看病したろか？

これじゃあ
乗られへんで

こちらの都合に
構う気は無かった



あんちゃんが
新しい艦長？

この迷惑な幽霊は

昼に無く
夜に無く

す



よほど私の肩の上が
気に入ったのか



…童丸
童丸



化けて出る程だ

何か訴えたいことが
あるのだろう…

のう童丸



やっぱり童じゃねえか

ひどいわ！

何が恨めしいかは
知らんが…

わしはこの艦隊の
参謀じゃ

恨めしい
言うたら

こんな私に
産んだあんたらとか…

大事な作戦中じゃ
ちよっかいは
わしだけにしとけよ

ぎっ

搭載機増やすためやからて…
格納庫を2段にするなんて
無茶苦茶やで！

幽霊のくせに
詳しいのう…

第四艦隊事件いうてな
こんな台風の日
だったそうじゃ…

転覆は免れたが
高波に弱うてのう

ただでさえ曰く付きじゃ
この軍艦は

艦橋まで潰してしもて

ほんと
有り得へんかったわ…

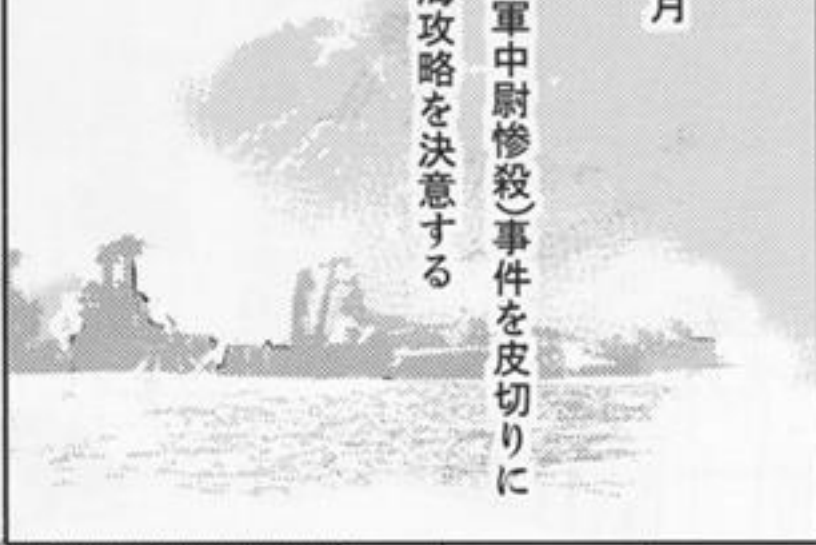
お前…

龍驤か…？



昭和十二年 八月

通州事変、大山(海軍中尉惨殺)事件を皮切りに
帝国陸海軍は上海攻略を決意する



特に、大山事件は単なる暗殺事件ではなく
肉体破壊の限りを尽くした猟奇趣味的な
殺人事件であり



国内世論は激昂

それまで日和見を決め込んでいた
帝国海軍も二撃講和策を享受

事変の早期解決を
目指したが



米内
海軍相

暴支膺懲!

近衛首相

初陣で…
鳳翔も加賀も
経験してんねんな…



うち何したら
ええんやろ…

上海の首尾は
相当に悪いと聞いておる



敵の航空兵力
侮り難し…

ええい!
暴支膺懲!

この荒天
なんそのものよ

それ以上に
吊い合戦の
色合いが強かった



加賀の被害が
甚大とな



まさか
沈められたのでは…

うちの中で
暴れんといて
ほしいなあ

ホンマに…



おい、聞いたか?





米軍製の哨戒機が
確認されたとの
話もあります

そいつが上海を襲ったのは
間違いないのか？

ソ連製の爆撃機？



国民党軍が
何故そのような物を…

作戦変更はない
明朝マルロクマルマル
四機編隊を率い

宝山上空を哨戒

はっ

いよいよですね

これでは…



暴支膺懲！

関係あるかい
そんなもん！





まだ具合悪いん…？

なあ…キミい



邦人救出の為
上海侵攻の任に
就いておるが

今度の戦闘は
日本軍の支那への
侵攻と宣伝されるじやろう



何故お前が
現れたのかを考えていた

英米、ソ連の
参戦の口実使われよう

これは…

取り返しのつかん
ことになる気がする

なっ

なんやねんなそれっ

無茶な設計の上に
艦上機詰め込んで

やっと初陣やと思ったら
取り返しがつかん？

どうせいつて
言うんやっ

勇ましいのう

しかしのう

血を流すのは
わしらじゃ

艦ふねの如きが

意見具申するため
その姿に褒めたのか？

せ、せやな…

うち元々物言わん
ただの空母やし…

いつ沈むかも
しれへんボンコツ…
どうかしてたわ…

加賀も…
きっと悔しいやろな…



それでも…キミの
キミらのために…

生まれたんやから…



後の世の
誹りせりを免れん
のだ

龍驤りゅうしょうという
名を…



人の形なりで無ければ
苦しまずに
済んだものを…



わしはそれが…
たまらなく辛い…

おはは

へ、平気やで……

童ぢやう
ゆうてるやろ……

軍人やのに
軍艦なんか
に氣イ使つて
どないすんねん

そうか……
そうじゃったな

ん

?
何か当たってるで……

イヤ!
こ、これは……

陸を
出てもう何ヶ月も
経つし……

い、一応お前も
お、女子の形
してるからな……

ムズムズ

私が現れた意味って
そういう事……？

ち、違……っ

すごい……

どくどく
言ってる……

何か飼ってる
の……？

その……
なんじゃ……

ええよ……

早い話が
うちにぶちまけたくて
仕方ないんやろ……？

あ……
ハイ……

ぽん

ビィ



どんだけ
貯めこんだら
こんな…

ん…

汗臭くて…

太くて
熱くて…っ

すごい中で…っ
暴れて…





あんまり奥に
舌入れんといてえ…

やん…



お前の蜜は奥の方が
甘露じやの

もう…う
変態ノ



エロいのう…

そんなに拵けて
おねだりか？

ほうら
はよフチ込みたいやろお…？

んもう…
いじわるう



す、吸い付く…

すごい締め具合じゃ

深くするぞ…

おま



ハハ…
自分で腰を振って
スキモノじゃのう

だつてえ…

ん





ヒッ
ヒッ

フウーッ
ンッ

ズッ
ズッ

フン…クウツ

おほ
う
おお
おお
おお

射精すぞっ！

クウ…ッ
もう果てそうじゃ…っ

ええ塩梅じゃ

あは…っ

もう5,6発は
イけるじゃろ

ヒッ
ヒッ
ヒッ







ぎゅ

ぎゅ

しゅき...

そうか...
わしもお前が
可愛くて仕方なくて
のう...



ううん...

ずっと
見てたんよ...

キミがうちに
着任する前からずっと...



ちよつかい
出したんも...

ずうっと
キミにこうして
欲しかったからかも...

龍驤.....

あ

あ

あ

あ

あ

あ



そんなにしたら
壊れちゃう…っ

私…

孕ませたいんじゃ
ええじゃろ

子宮ももう
精液でパンパンじゃ
もう少し挿げんか…
の？

ハアッ

ハアッ

そこ格納庫
ちゃうのに…っ



なんじゃ…？
そっちにも
欲しいのか…？

なんちゅう
好き者じゃろ…

ゴ

♀

尻穴もなかなか
ええ締め具合じゃ...

ズボ
ズボ

誘惑してる
つもりか？

そ、そんなん
ちやうわ...!

でも...

将校さんって
色んな軍艦
乗るんやろ...?

尻穴ほじられて
感傷か...?

いつ私が沈んで
生き別れるかも
わからんし...

それとも...

妬けるか...?
他の艦に...

ズボ

ズボ



答えたらへん!



龍驤...

なんつうか...
女子に気持ち打ち明けるのは
苦手での...

お前の形が
女子であろうと
なかるうと…

いつからキミ
うちのお嫁さん
になったん…?

お前
艦とは最初から…
添い遂げる覚悟じゃ

それが帝国軍人と
いうもの…

ちや、茶化すなっ

ぷっ

明日…

無事に還ってきたら
またこうやって
してくれる?

私…本当は
それだけでええんやから…

きみとなら
大丈夫…

平気…

心細いか…?

8月16日午前6時



ちゅ、中佐殿…
昨日より
やつれてますね

ちよつとな…

イヤ、大したことはないっ

発進よーい！



作戦は決行である
困難な作戦となるが

武運を祈る

航空隊諸君の
これよりの苦難の道に
比べれば…



見て見てーっ！

へへ…
一張羅やでっ

随分かさ上げ
しとるのう…

なんやて——!?

ぶっ

ちゅ、中佐殿…?

ちよつくら
甲板に出てくる

ええっ!?

一体、自分が何者で

どこから来たのか

ほらっ
鳳翔が
手え振ってるで!

ああっ
加賀も！
無事やったんや！

どこへ行くのか

本当は何も理解は
しとらん
のじゃろなあ…

人間も同じか…

龍驤らの存在が
この戦の先行きを
暗示しているのなら

これは避けられぬ運命
なのじゃろう

果ては地獄か

還ってきたら
いつでも

特等席は
空けといてや

特等席？

肩！

ああ…

それでも

お前となら
逝ける気がする

ほな…
行ってくるで…

なんか言うた？

なんでもないわい

提督
その…遠ったら…

よし
空母機動艦隊出撃するで！

うむ
頼ずりして
ペロチューだっけ？

そ、そこまで
せんでええわっ！

龍驤さん
仕切らないで…

はて…提督？

ま、ええか

全機発進！！

昭和十二年八月二十二日、兼子正中尉の指揮する九五戦四機は、宝山上空を哨戒中のカーチスホーク一八機を発見、六機を撃墜。翌二十三日には鈴木實中尉が九五戦四機を率いて宝山上空を哨戒中、カーチスホークとP26戦闘機混成の二七機編隊を発見、激しい空中戦を展開し、九機撃墜。

AP通信は空母「加賀」、「鳳翔」と共に「龍驤」の活動を世界に報じた

●あとかき●

どうも、みさぎ和です！

初の艦これ本ですよ！艦これ！

相変わらず乳の無い(褒め言葉)娘ばかりを描いてる気がしますが、初めてお迎えした空母が龍驤ちゃんだったのだからしょうがない。ツンツンしてるのに構ってちゃんなのがとてもツボなんですよ。普通の艦これ本と違って、ちょっとおカタい内容になってしまいましたがいかがだったでしょうか？

今回の作品の時代背景は、後に支那事変と呼ばれる、その幕開けの第二次上海事変の頃です。この後、上海～南京と何故か内地へ誘い込まれ国際プロパガンダによって日本軍が悪者にされたってのが、近年の定説だそうです。(ようするに南京大虐殺とかいう架空のアレ)作品中でも出てますが、元々は邦人救出の作戦だったんですよ。これを口実に石油が止められたり、ABCD包囲網をされたり教科書に出てくる史実に結びついたというお話です。

そんな時代の中、艦娘たちが存在したら…と考えだすと妄想が止まらなくなりまして(苦笑)2013年冬コミで頒布する予定だったものが、随分遅れてしまいました(反省)異次元大戦も良いのですが、史実に沿ったお話を考えた時、艦娘達の人間(?)関係もまた面白い描き方が出来るんじゃないかなあ…と

龍驤ちゃんはこのお話の後も、とても数奇な運命を辿ります。ミッドウェーからソロモンまで。

機会がありましたらどこかで描いてみたいと思います。

肩の上の龍驤

奥付

発行日 2014年8月17日発行
発行者 みさぎ和
発行 EAR-POP
URL <http://www.nagnagnag.hello-net.info/default.htm>
mail earpop@nagnagnag.hello-net.info
印刷 サンライズパブリケーション様

※本誌は成年向けです。未成年者の方は閲覧、購入できません。
※この本の一部又は全部を無断でネット上で共有することを固く禁じます。
末代まで怨みます。

肩の上の龍驤

FOR ADULT ONLY

by EARIPOP